

研究指導

科目名・単位数	論文指導Ⅱ（会計学） 2単位	科目分類	研究指導
配当年次	1年次・春学期	担当教員	久保 古市
履修形態	選択		
授業概要	<p>財務会計をテーマとする修士論文作成を前提とした研究指導を行う。財務会計論のなかから受講生各自が設定するテーマについて、各自の問題意識やアプローチに基づいて文献を収集し、論点を整理し、研究報告を行う。このプロセスを繰り返し行うことを通して、修士論文を作成し、完成させる。</p>		
到達目標	修士論文の完成		
授業方法	受講生各自が設定したテーマについて、その内容の報告を行い、討議を行う。		
事前・事後学習	資料収集、論点整理、論文作成、指導結果の反映		
成績評価の方法	報告の準備、討議における発言内容、論文作成の過程における作成への姿勢、論文の内容（論旨の明快さ、内容の独自性、文献収集等）等を総合的に評価する。		
フィードバックの方法	毎回の論文指導において質疑応答		
履修上の注意	特になし		
授 業 計 画			
第1回	<p>論文作成の準備（1） ※①論文作成分野の論点整理、②論文の書き方の指導、③論文テーマの設定、 ④参考文献の検索と収集（以下、同じ） （予習：課題の作成 120分 復習：提出課題への指導のフィードバック 120分）</p>		
第2回	<p>論文作成の準備（2） （予習：課題の作成 120分 復習：提出課題への指導のフィードバック 120分）</p>		
第3回	<p>論文作成の準備（3） （予習：課題の作成 120分 復習：提出課題への指導のフィードバック 120分）</p>		

第 4 回	論文作成の準備（4） （予習：課題の作成 120 分 復習：提出課題への指導のフィードバック 120 分）
第 5 回	論文作成の準備（5） （予習：課題の作成 120 分 復習：提出課題への指導のフィードバック 120 分）
第 6 回	論文作成の準備（6） （予習：課題の作成 120 分 復習：提出課題への指導のフィードバック 120 分）
第 7 回	論文作成の準備（7） （予習：課題の作成 120 分 復習：提出課題への指導のフィードバック 120 分）
第 8 回	論文作成の準備（8） （予習：課題の作成 120 分 復習：提出課題への指導のフィードバック 120 分）
第 9 回	論文作成の準備（9） （予習：課題の作成 120 分 復習：提出課題への指導のフィードバック 120 分）
第 10 回	論文作成の準備（10） （予習：課題の作成 120 分 復習：提出課題への指導のフィードバック 120 分）
第 11 回	論文作成の準備（11） （予習：課題の作成 120 分 復習：提出課題への指導のフィードバック 120 分）
第 12 回	論文作成の準備（12） （予習：課題の作成 120 分 復習：提出課題への指導のフィードバック 120 分）
第 13 回	論文作成の準備（13） （予習：課題の作成 120 分 復習：提出課題への指導のフィードバック 120 分）
第 14 回	論文作成の準備（14） （予習：課題の作成 120 分 復習：提出課題への指導のフィードバック 120 分）
第 15 回	論文作成の準備（15） （予習：課題の作成 120 分 復習：提出課題への指導のフィードバック 120 分）
テ キ ス ト	テキストは特にないが、適宜、資料を配布する。
参 考 図 書	適宜、紹介する。

研究指導

科目名・単位数	論文指導Ⅱ（税法） 2単位	科目分類	研究指導
配当年次	1年次・秋学期	担当教員	浅井 鳥居 川田 廣木
履修形態	選択		川根 上松 沼田 平野
授業概要	<p>「論文指導」科目は、税法の修士論文作成者に対して税法論文を完成するのに必要な指導を行う。本研究科の院生が税法論文を作成するのは国税庁に提出し、税理士試験の税法 2 科目免除を得ることが主たる目的であることから、本研究科卒業の為だけでなく、免除を得るための質の高い論文の完成を目指す。</p> <p>論文指導 4 科目（Ⅰ～Ⅳ）は、原則として履修生ごとに個別の論文指導により行うこととするが、1年次においては合同での指導授業形式を採ることもある。</p>		
到達目標	「論文指導Ⅱ」では、具体的な論文の執筆作業に着手し、論文の前半部分を書き上げる。		
授業方法	教員とその指導を受ける履修生が 1 対 1 の個別で又は合同での論文指導を行う形式をとる。		
事前・事後学習	授業前に論文を作成させ、それをメール等で送信させるか授業で提出させる。		
成績評価の方法	論文内容の評価（論理性、明確性、立証性）及び論文作成への積極性、自主性、進捗などを総合勘案して評価する。		
フィードバックの方法	提出された作成中の論文は、授業内かその都度メール等で添削指導する。		
履修上の注意	他の租税法系科目（特に基礎を学ぶ「租税法総論」、論文テーマに係る税法科目など）をできる限り受講しておくこと。		
授 業 計 画			
第 1 回	<p>（論文作成—A）</p> <p>論文の書き方から始め、文章構成、論理展開、表現方法等を学びつつ、併せて問題発掘の都度、分析・検討を行って、論文内容の研究を深めていく。</p>		
第 2 回	<p>（論文作成—A）</p> <p>論文の書き方から始め、文章構成、論理展開、表現方法等を学びつつ、併せて問題発掘の都度、分析・検討を行って、論文内容の研究を深めていく。</p>		
第 3 回	<p>（論文作成—A）</p> <p>論文の書き方から始め、文章構成、論理展開、表現方法等を学びつつ、併せて問題発掘の都度、分析・検討を行って、論文内容の研究を深めていく。</p>		

第4回	(論文作成—A) 論文の書き方から始め、文章構成、論理展開、表現方法等を学びつつ、併せて問題発掘の都度、分析・検討を行って、論文内容の研究を深めていく。
第5回	(論文作成—A) 論文の書き方から始め、文章構成、論理展開、表現方法等を学びつつ、併せて問題発掘の都度、分析・検討を行って、論文内容の研究を深めていく。
第6回	(論文作成—A) 論文の書き方から始め、文章構成、論理展開、表現方法等を学びつつ、併せて問題発掘の都度、分析・検討を行って、論文内容の研究を深めていく。
第7回	(論文作成—A) 論文の書き方から始め、文章構成、論理展開、表現方法等を学びつつ、併せて問題発掘の都度、分析・検討を行って、論文内容の研究を深めていく。
第8回	(論文作成—A) 論文の書き方から始め、文章構成、論理展開、表現方法等を学びつつ、併せて問題発掘の都度、分析・検討を行って、論文内容の研究を深めていく。
第9回	(論文作成—A) 論文の書き方から始め、文章構成、論理展開、表現方法等を学びつつ、併せて問題発掘の都度、分析・検討を行って、論文内容の研究を深めていく。
第10回	(論文作成—A) 論文の書き方から始め、文章構成、論理展開、表現方法等を学びつつ、併せて問題発掘の都度、分析・検討を行って、論文内容の研究を深めていく。
第11回	(論文作成—A) 論文の書き方から始め、文章構成、論理展開、表現方法等を学びつつ、併せて問題発掘の都度、分析・検討を行って、論文内容の研究を深めていく。
第12回	(論文作成—A) 論文の書き方から始め、文章構成、論理展開、表現方法等を学びつつ、併せて問題発掘の都度、分析・検討を行って、論文内容の研究を深めていく。
第13回	(論文作成—A) 論文の書き方から始め、文章構成、論理展開、表現方法等を学びつつ、併せて問題発掘の都度、分析・検討を行って、論文内容の研究を深めていく。
第14回	(論文作成—A) 論文の書き方から始め、文章構成、論理展開、表現方法等を学びつつ、併せて問題発掘の都度、分析・検討を行って、論文内容の研究を深めていく。
第15回	(論文作成—A) 論文の書き方から始め、文章構成、論理展開、表現方法等を学びつつ、併せて問題発掘の都度、分析・検討を行って、論文内容の研究を深めていく。
テキスト	特になし。
参考図書	開講時に指示する。